

厚生労働行政推進調査事業費補助金（腎疾患政策研究事業）
腎疾患対策検討会報告書に基づく 対策の進捗管理および新たな対策の提言に資するエビデンス構築

分担研究報告書

情報発信、広報

研究分担者 西山 成 香川大学医学部薬理学 教授

祖父江 理 香川大学医学部循環器・腎臓・脳卒中内科学 講師

研究要旨

本研究における情報発信・広報では、腎疾患対策の進捗管理および施策の均てん化に資する基盤として、研究成果および各地域の取組の体系的な集約・発信を実施した。令和4年度に本研究班と公募研究班（岡田班）が共同で構築したウェブサイト（<https://ckd-research.jp/>）を中核的基盤として位置づけ、令和7年度においては当該基盤の継続的運用および機能強化を行った。具体的には、全国各地における診療連携体制構築の好事例、普及啓発資材、診療ガイドライン関連情報等を収集し、一定の様式に基づき整理・掲載した。これにより、医療機関、自治体、関係団体等が実務的に活用可能な情報提供を実現した。特に、これまでの研究で明らかとなった取組の進捗が不十分な地域に対しては、他地域の先進的取組をモデルとして提示し、具体的な導入手順を含めた情報提供を強化した。また、ウェブサイトのアクセス状況について、閲覧数、利用者属性、閲覧ページ等の解析を実施し、利用実態の把握および課題の抽出を行った。これらの結果を踏まえ、コンテンツの見直しおよび新規コンテンツの追加等、継続的な改善を行い、情報発信の到達性および実効性の向上を図った。以上の取組により、腎疾患対策に関する情報の可視化および知見共有の基盤を強化し、各地域における診療連携体制の構築および普及啓発活動の推進に寄与した。

A. 研究目的

腎疾患対策の進捗管理および施策の均てん化に資するため、研究成果および地域の取組を体系的に集約・発信する基盤の運用と強化を目的とした。

B. 研究方法

共同HPを活用し、診療連携好事例や普及啓発資材等を収集・整理・掲載するとともに、アクセス解析により利用状況を把握し、継続的な改善を実施した。

（倫理面への配慮）

特になし

C. 研究結果

実務的に活用可能な情報提供基盤を整備し、特に取組が遅れている地域へのモデル提示を強化するとともに、アクセス解析に基づくコンテンツ改善を実現した。

D. 考察

本基盤は腎疾患対策の可視化と知見共有に有用であり、地域間格差の是正および診療連携体制の構築促進に寄与することが示唆された。

E. 結論

共同HPを中核とした情報発信基盤の整備と継続的改善により、全国的なCKD対策の推進および均てん化に資する有効な手法であることが確認された。

G. 研究発表

1. 論文発表
特になし

2. 学会発表
特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況
（予定を含む。）

1. 特許取得
特になし

2. 実用新案登録
特になし

3. その他
特になし